

教務所 たより

発行者

小松教務所

〒923-0904 小松市小馬出町26番地

Tel 0761-22-0555

Fax 0761-22-0529

2018年10月1日発行

今月の掲示伝道

物をうつくるに
心をもつてし
法をうつくるに
身をもつてす

金子大栄

今月の教化事業

下記のとおり実施いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非お参りください。

● 日曜講座（午前9時30分から勤行、11時30分終了予定）

< 2018年 10月 >

期 日	講師名	備 考
10月7日	山本 証真 氏	上宮寺 (大聖寺教区)
14日	佐竹 融 氏	光玄寺 (小松市串町)
21日	竹垣 真実 氏	勝善寺 (金沢教区)
28日	休 講 (宗祖御命日のため)	

< 2018年 11月 >

期 日	講師名	備 考
11月4日	江尻 芳生 氏	小松教区駐在教導
11日	休 講 (翌日の十二日講にお参りください。)	
18日	前川 賢真 氏	金福寺 (小松市佐美町)
25日	休 講 (本山報恩講のため)	

●十二日講

- ◇ 日 時 10月12日(金)
午前9時30分から11時30分まで
- ◇ 会 場 常磐会館(小松教務所)
- ◇ 講 師 田畑 都 氏(元全国推進員連絡協議会会長)
- ◇ 講 題 「念仏成仏これ真宗～自らの学びの質を問う～」
- ◇ 主 催 十二日講門徒会

11月の十二日講
五辻 信行 氏 (福井教務所長)

●いのちを育むプロジェクト「御仏供米進納上山」

- ◇ 期 日 10月6日(土)
- ◇ 会 場 真宗本廟(東本願寺) ※ 申込受付は終了しました。
- ◇ 参加費 大人2,000円、小学生以上1,000円、小学生未満無料
※参加費は当日徴収します。
- ◇ 日 程

9:00 教務所出発	12:30 真宗本廟到着
13:00 採納式	13:30 諸殿拝観
15:00 真宗本廟出発	18:30 小松教務所到着
- ◇ 主 催 教化委員会 青少幼年教化部門

先月の行事

●いのちを育むプロジェクト「稲刈り」を開催しました。

期日：2018年9月2日(日)13:30～16:00 会場：圓光寺・千木野町田んぼ

今年は気温と天候が良すぎたため、稲の生育状態が非常に良かったので急遽当初の予定から刈り取りを一週間早めて9月2日に稲刈りを実施しました。

急な変更にもかかわらず子ども8名・大人14名の計22名の参加を頂きました。

稲刈りは初体験の参加者もいましたが刈り取りを進める内にみんな上手に刈り取ることができるようになりました。

また、刈り取り中には山口さんから梨の差し入れもあり、みんなで美味しく頂きました。

10月6日には刈り取った「いのプロ米」を本山の御正忌御仏供米として進納してきます。このお仏事を通して小松教区に相続されてきた願いが子どもたちに伝わってくれたらと思っております。

【報告：青少幼年教化部門幹事 加藤 雅輝(中町・遠慶寺)】



稲刈りの様子



多くの参加がありました

●重世話方一泊研修会を開催しました。

9月13日（木）から14日（金）の日程で、小松教務所（常磐会館）及び栗津温泉「のとや」を会場に、重世話方一泊研修会を開催しました。

当日は、能邨勇樹氏（小松教区勝光寺住職）を講師に迎え「相続講の活性化を願って」のテーマのもとに講義があり、各組門徒会から、重世話方約70名が参加しました。

能邨氏は、東本願寺（真宗本廟）の歴史と歩みのなかで相続講制度が形づけられてきたことを伝え、「教えを聴く場が生まれることによって、人が生まれる」と語られました。



講義終了後、6班に分かれての座談会が行われ、各組門徒会、町内の現況を織り交ぜながら意見交換が行われました。その後、栗津温泉「のとや」に移動し、懇親会と2日目の講義及び初日の座談報告が行われました。

【報告：小松教区駐在教導 江尻 芳生】

内局巡回報告

●内局巡回が実施されました

9月6日（木）、小松教務所を会場に、2023年にお迎えする宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の総計画案作成に向けた意見聴取を目的に内局巡回が実施されました。

当日は、本山から木全和博参務と随行部次長の3名が出向し、教区からは教区会議員、教区門徒会員をはじめ、21名の役職者が出席しました。

はじめに、今回の法要は大規模営繕や一過性のイベント的な行事を実施するのではなく、将来に亘る教学の振興と、教化の推進を見据えた事業展開を計画しているとの説明なされ、法要日程については30日間の法要（第1期 3/25～4/8：第2期 4/15～29）を予定しているとの説明がありました。

また、予選総額は50億円で、教区募財は「慶讃法要懇志金」の名称で、現時点では2019年7月から2023年6月末までの4カ年度で45億3000万円の教区御依頼を予定していること等についても説明が行われました。

説明を受けて、教区会、組門徒会長、組会等で事前に取りまとめた事項を中心に、質疑と意見交換が行われ、慶讃法要テーマについて「宗門に関わる人に慚愧を啓発するようなテーマを望む」といった要望や、教区団体参拝への対応についての質問がなされた他、法要趣旨の中に、宗門の財政基盤であり小松教区の特徴である、相続講制度の願いや言葉が見られないことについて強い不満が呈され、法要趣旨の中に「法義相続 本廟護持」の願いが盛り込まれるよう要望がなされました。

今回の意見聴取を基に総計画案が作成され、2019年度の宗会を経て総計画が提示されます。

教務所 からのお知らせ

● 2018年寺院・教会報恩講日程一覧について

10月を迎え、教区内の各寺院・教会においては、真宗門徒の最も大切な御仏事である報恩講が厳修される季節です。ご参拝の一助となるよう報恩講日程一覧表をお届けしますのでご活用ください。

(各班長の報告のもと、作成してあります。)

● 東本願寺出版 新刊書のお知らせ



阿弥陀経に学ぶ(廣瀬 惺著)【頒布価格: 1,382 円(税込・割引)】

「阿弥陀経」は真宗本廟(東本願寺)をはじめ、宗派を問わず多くの寺院で日々読誦され、たくさんの方々に親しまれているお経です。

なぜ、このお経はインド・中国・日本と国を超え、1600年以上もの時を貫いて、無数の人々に読まれ続けてきたのか。そしてそこに説かれる阿弥陀経という仏、浄土という世界は、現在を生きる私たちにどのように関わるのか……。『阿弥陀経』を浄土三部経のひとつとして尊ばれた親鸞聖人の受け止めを手掛かりに経題、經典翻訳者、そして經典の内容へと分け入り、人生に苦悩する私たちに届けられた釈尊の大悲のメッセージを丁寧に読み解きます。

お経の理解を助ける『阿弥陀経』の構成・全文書き下し文も収載。

● 結婚念珠について

誕生児念珠をご存知ですか?

誕生児念珠は、新たな命の誕生を祝して、本山から贈られるものです。

寺院の初参り式等で是非ご活用ください。

念珠のほか、栞「ご家族のみなさまへ」とともに組み立て式の台紙に入れてお渡しします。

必要な方は、お手次の寺院を通して、1ヶ月前までに教務所に申請してください。

詳細については、担当(山本)までお問い合わせください。



誕生児念珠

<小松教務所 事務休止のお知らせ>

このたび、下記のとおり事務休止を予定しております。教区内の皆様方には、ご理解のほどお願い申し上げます。

期 日 2018年10月4日(木) 終日

〔9月30日 常磐会館報恩講前日準備の振替休日〕

【緊急連絡先】主 計 (090-9440-3015)

※ 電話が繋がらない時は、必ずメッセージを入れてください。